

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
		○		

事務事業No 305 事業名 保育所整備事業（私立）（保育所の増改築・大規模修繕等）

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		民生費	
	項		児童福祉費	
	目		児童保育費	
	大事業		児童保育事業	
	事項		私立保育所整備事業	
「3つのキーワード」との関連性				
いのちを守る	人と文化を育てる	ふるさと力を高める	該当せず	
	○			

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	3	子育て支援の充実
施策	1	子育て支援の充実
取組	3	子どもが健やかに育つことができる環境づくり

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間	～		
事業実施の根拠法令			
関連個別計画	和歌山市公立保育所民営化等整備計画		
担当課・担当課長 (Tel)	子育て支援課	宮崎 久	435-1329
関連課	保育課		

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	事業内容				
	社会福祉法人等が運営する保育所において、創設・待機児童の解消・老朽化の改善等を目的とした施設整備に要する費用の一部を助成することにより、保育環境の整備を図る。	社会福祉法人等が行う施設整備に対し、補助金を交付する。 ・補助金交付の流れ 法人から交付申請→市の交付決定→法人から完成検査請求→市完成検査・検査証の発行→法人からの実績報告→市の確定通知→法人から交付請求→市からの補助金交付 ・補助の条件 実施主体：社会福祉法人、学校法人、公益財団法人等 施設整備：新規創設、待機児童解消や老朽化の改善を目的とした建替え及び改修				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		私立保育所の施設整備に対する補助	私立保育所の施設整備に対する補助	私立保育所の施設整備に対する補助	私立保育所の施設整備に対する補助	私立保育所の施設整備に対する補助 (有功保育園・紀之川保育園)

2 事業コスト

	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	147,980	159,143	464,638	273,419	210,628	195,129	356,251	16,398	357,281	
伸び率 (%)	-	-	214.0%		-54.7%		69.1%		0.3%	
人件費	常勤職員	4,713	7,077	7,077	7,127	7,975	8,257	8,257	3,642	3,642
	非常勤職員									
	小計	4,713	7,077	7,077	7,127	7,975	8,257	8,257	3,642	3,642
国庫支出金	98,654	106,095	309,757							
県支出金				182,278	131,442	128,369	237,500	10,932	238,186	
市債	45,000	53,000	122,600	72,800	51,800	51,300	94,200	5,400	89,700	
その他										
一般財源(税等)	4,326	48	32,281	18,341	27,386	15,460	24,551	66	29,395	
所要人数	常勤職員	0.61	0.92	0.92	0.94	1.06	1.09	1.09	0.49	0.49
	非常勤職員									
主な予算内訳	私立保育所整備事業費補助金 357,281千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	年度目標値	実績値	年度別達成度	全体目標達成度					
補助申請施設数	年度目標値	2	2		2	2	3	2	
	実績値	2	2		3	3			
	年度別達成度	100.0%	100.0%	150.0%	100.0%				
整備完了施設数	年度目標値	2	2		2	2	3	2	
	実績値	3	2		3	1			
	年度別達成度	150.0%	100.0%	150.0%	33.3%				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性(担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>私立保育所において、老朽施設を建替え・改修等が自己資金のみでは困難な保育所が多く、当該補助金を活用し保育環境の改善を図る。</p>
<p>「見直し」 「改善」案</p> <p>※上記、「今後の方向性」において、「事業内容」、「コスト投入」の方向性が共に「現状維持」以外の場合は記載</p>	